

＋ マイコプラズマ肺炎 についてのお知らせ

マイコプラズマ肺炎は、マイコプラズマという細菌の感染による急性の呼吸器感染症です。咳が長く続き（2～4週間）、学校や幼稚園、保育所などで感染がみられます。14歳以下の小児が感染者報告の80%を占めています。

症状

2～3週間の潜伏期間をへて、発熱・頭痛・だるさなどから、次第に咳が目立つようになります。「ずいぶん長く咳が続くけど…」と受診してみるとマイコプラズマの感染であるというケースがあります。

夜間の激しい咳があり
眠れないなどのときは
医療機関へ受診を！



治療

自然に治癒する傾向もある感染症ですが、有効な抗菌剤（マクロライド系など）を服用することで、症状の出る期間を短くすることができます。治療までには数日～数週間かかります。



＋ こんなときは医療機関への受診をお勧めします

- ✓ 昼間、学校や幼稚園、保育所での生活に支障をきたすほどの咳がみられるとき
- ✓ 夜間、咳で眠れないとき
- ✓ 乾性の咳が2～3週間続くとき
- ✓ 発熱と咳が出るとき

※髄膜炎・髄膜脳炎などの合併症が起こることもあります。

登校、登園について

熱が下がり、症状の強い急性期の症状がおさまれば、全身の状態がよくなれば、登校、登園は可能です。医師に診てもらいましょう。



予防について

＋ 手洗いをよくします。手洗いは正しい方法で行ってください。

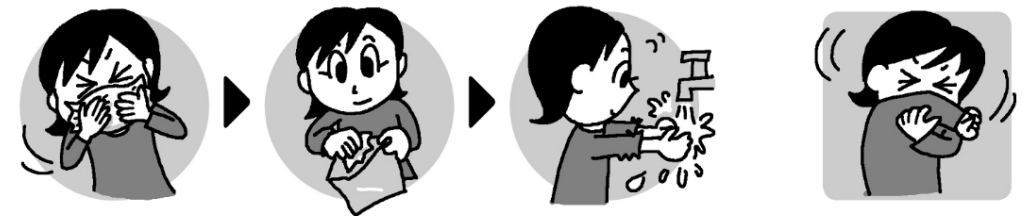


＋ 咳が出るときは…



＋ マスクがないときは…

- ✓ ティッシュなどで口をおさえるようにしてください。口をおさえたティッシュは別個にして処理して、手を洗いましょう。
- ✓ ティッシュがないときは自分の腕で口をおさえましょう。



※夜間の激しい咳があるときは、うつさないように他の人と同じ部屋で寝ないようにしてください。